

元気っ子通信

No.61

平成 27 年 8 月 6 日発行

夏休みの朝の学習の様子

暑い毎日が続きます。おんべ川までの炎天下の道を歩いていくのも子どもたちにとっては「修行」かもしれません。車で「さ〜」と行くのではないのがいいのです。ただ、熱中症が心配で水分補給や休養に気を付けて言葉をかけています。

子どもたちの身体の底から突き出てくるような歓声を聞いていると、子どもはこうして遊ばなくてはと思います。遊びのなかで大人になっていく準備をいっぱいしています。仲間と楽しく、気持ちよく生活すること等、体感してこそ理解できるものです。今も何人かのグループで色んな遊びが展開しています。

朝の10時頃までは静かに人に迷惑をかけずに学習をする時間にしていますが、全く勉強をせずに友だちとおしゃべりだけでおわり、「勉強しなくていいの?」と聞くと「うん、家です」と言います。こんな子は家でもしないだろうなと思います。



家庭が子どもの勉強に目を通していている子は宿題のほかにもがんばっています。親が作った問題やドリルを持参して、「お母さんと約束してきた」とがんばっています。



この1ヶ月半という長い時間の子どもへの過ごし方を親も考えてほしいと思います。

例えば、学校で使う1学期の計算ドリルや漢字ドリルをくりかえしやるとか工夫して、2学期にそなえてはどうでしょう。

子どもがやった勉強にもていねいに目を通してください。いい加減な書き方が多いです。励ましたり、注意したりして本人の学習意欲を高めるようにしてほしいと思います。勉強しても、何も見てくれないでは「やる気」がなくなるのは当然です。

「遊ぶ」 「学ぶ」 両方が大切です。

以 上